

日本弁理士会における 研修に関する取組

令和6年2月15日

日本弁理士会

会長 鈴木 一永

I. ディスカッション型研修

1. ディスカッション型研修の拡充

- 弁理士業務におけるコミュニケーション能力、課題対応能力といったスキルの重要性に鑑み、これらのスキルをより高めるべく、令和5年度は弁理士同士が議論をしながら解を導く、ディスカッション型の研修を拡充。
- 受講者の反響は非常に好評であり、R6年度以降同様の形式の研修をさらに拡充予定

【令和5年度日本弁理士会事業計画（項目・抜粋）】

第3 具体的施策

- 1 「知財業務の活性化」のための施策
- 2 「組織の強化」のための施策
- 3 「人材の育成・強化」のための施策
 - 3-1 信頼されるプロフェッショナルとしての弁理士の育成

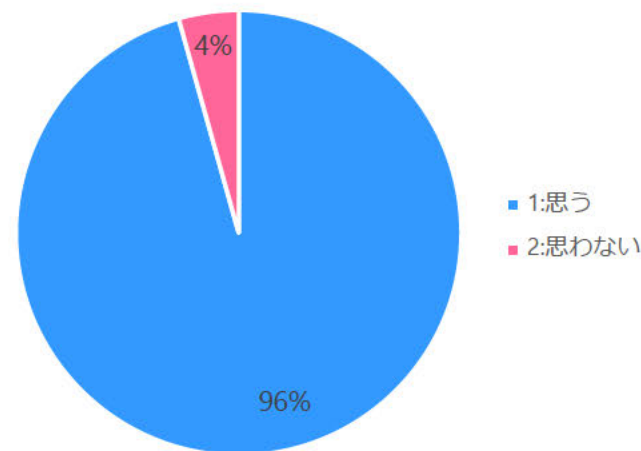
(1) ディスカッション型の研修の拡充

- (2) 業務を支援するための仕組みづくり
- (3) ダイバーシティ推進、広告ガイドラインの周知徹底、マナー講習、ハラスメント対策等の広報及び研修の実施

※全文：<https://www.jpaa.or.jp/cms/wp-content/uploads/2023/05/business-plan2023.pdf>

【受講者の評価】

Q：扱う事例を変えて、再度同様の研修を受講したいと思うか？



I. ディスカッション型研修

2. 標準化に関するディスカッション型研修

- 「知財・標準化を活用したビジネス戦略 事例研究」と題し、標準化の専門機関である日本規格協会（JSA）より講師をお招きし、実際に標準化を行った事例を取り上げ、グループワークにより知財・標準化を活用した戦略立案を模擬実践。
- ディスカッションの成果物を受講者全員で共有。講師による講評とあわせて、標準化を活用した戦略の様々な可能性を各受講生が習得。

【ディスカッションの検討課題】

＜前提＞

- 中小企業A社が開発した〇〇〇
- 特長、現在の知財保護、販売状況・・・など

＜検討課題＞

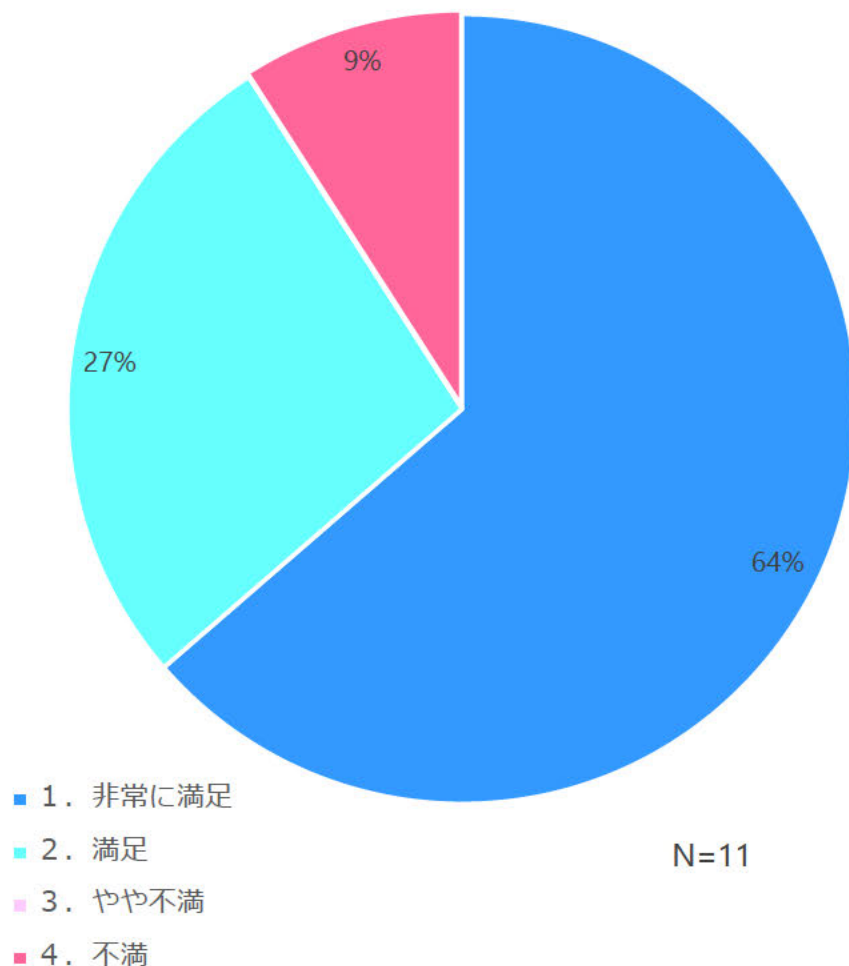
1. 知財と標準化の範囲はどのように設定すべきか？
（オープncローズ戦略）
 - a. 秘匿する範囲
 - b. 特許権利化範囲
 - c. 標準化範囲
2. 標準の種類は何を選択すべきか
 - a. 試験方法規格
 - b. 製品規格
 - c. その他



受講生同士が知見を共有し、戦略を立案

【受講者の評価】

- 受講者の9割超が非常に満足又は満足と回答。
- 個別コメントでも非常に前向きなコメントが多数得られた。



- ✓ 標準化を検討する際に検討すべきことや規格に盛り込む情報を演習形式で学べて良かったです。
- ✓ 事例紹介がよかった。またグループワークによるディスカッション形式であり、理解が深まった。
- ✓ 実習が入っているのが良かったと思います
- ✓ 同様の研修を弊社でもやって頂ける余地があれば検討したいと思います。
- ✓ 業務として標準化戦略と連携した知財戦略の立案を求められているのですが、標準化の経験に乏しいため、具体的に何を検討すればよいのか分からず困っていました。本研修では、具体的な事例を通じた演習により、どのような観点で標準化戦略・知財戦略を考えればよいのか学ぶことができ、とても参考になりました。また、グループワークで他の参加者と議論することで、自分とは異なる考え方に接することができ、視野を広げることができました。

※原文ママ、下線および太字は筆者追記

Ⅱ. 座学研修（オンライン形式）

ルール形成戦略に関する研修

- ビジネス戦略としてルール形成戦略を活用するにあたっては、技術や知的財産に関する知識はもちろん、経営学や地政学の知識も必要とされる。とりわけ、**必要な「エコシステム」を把握し、バリューチェーンやステークホルダーの全体像を特定するプロセスを理解することはルール形成戦略立案の肝。**
- このことに鑑み、「知財専門家が知るべきルール形成とビジネス～知財・標準化一体的活用～」と題し、**経済産業省の「ルール形成戦略研修」でも講師を務める大学教授を講師としてお招きし、知財・標準化一体的活用の基礎から、知財専門家が担うべき“深層”までを解説**する2回シリーズの研修を実施。

【基礎編】

- 日時：令和6年2月15日（木） 16：00～17：30
- 形式：オンライン（Zoomウェビナー）
- 定員：500名

ルール形成戦略を立案するために必要な知識を幅広く解説

【ビジネスモデル編】

- 日時：令和6年3月7日（木） 14：00～15：30
- 形式：オンライン（Zoomウェビナー）
- 定員：500名

具体的に弁理士としてどのように戦略提案をしていくことが考えられるのかを解説